

PROGRAM 1 講演会

ドメスティック
・バイオレンス
—アメリカの視点から—

American Perspective
on Domestic Violence

講師：ハーヴィー・ウォレス 博士
Dr. Harvey Wallace

2004年 H棟 大講義室
5月26日水
16:00~18:00 (受付15:30~)

アメリカでは、1970年代に早くもドメスティック・バイオレンス(DV)の被害者を支援するシェルターが各地に立ち上がり、また、法律も整備されています。「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が施行されて3年目の日本では、被害者支援、被害防止のために、どのような社会資源をどう生かしたらよいのでしょうか。昨今、日本でも非常に深刻な問題である児童虐待とも関連づけ、アメリカでの対応をお話いただけます。

◆ 講師紹介

ハーヴィー・ウォレス 博士
Dr. Harvey Wallace

カリフォルニア州立大学フレズノ校
社会科学部教授・副学部長
(法学博士・行政学修士・弁護士)



カリフォルニア州立大学フレズノ校で犯罪学を修めた後、カリフォルニア・ウェスタン法科大学院を修了。同州内の市や郡にて犯罪防止、被害者支援、警察行政などに関する法務に長年携わり、1992年からカリフォルニア州立大学フレズノ校犯罪学教授に就任。家庭内暴力や被害者学、刑事司法制度に関する著書、論文多数。代表的な著書に『Victimology』(Allyn and Bacon, 1998)がある。

*いずれのプログラムにも逐次通訳がつかます。

『ドメスティック・バイオレンス』

PROGRAM 2 セミナー

「DV対策～
確かな実践に向けて」

Promising Practices in Domestic Violence

G棟 センターホール

5月27日木 10:00~11:30
(受付9:30~)

関係機関の方々をはじめ、DV被害者支援、女性相談、児童問題、被害者問題に取り組んでいる方々向けに、現場が抱えている問題点を洗い出しながら、今後の地域施策への鍵を探ります。関心のある一般の方々の参加も歓迎いたします。

PROGRAM 3 ワークショップ

DV被害者支援ワークショップ

Workshop for DV Victim Supporters

G棟 201教室

5月27日木 13:00~15:00
(受付12:30~)

DV被害者支援、女性相談、DV・ストーカー対策、児童・福祉問題などに携わる方々を対象とし、設例をもとに、関係機関の連携やネットワークをめぐる問題を掘り下げます。

主催 常磐大学

★参加ご希望の方は、5月17日(月)までに氏名、住所、ご連絡先、参加されるプログラム名を明記の上、ファックスまたはメールにてお申し込み下さい。なお、ご来学の際にはできるだけ公共の交通機関をご利用下さいませようお願いします。

お申込先：常磐大学国際被害者学研究所

〒310-8585
水戸市見和1-430-1
TEL: 029.232.2868
FAX: 029.232.2522
e-mail: tivi@tokiwa.ac.jp

お問合せ先：TEL:029.232.2868

(担当：中村、坂場)

